

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	蟻
Author(s)	倉光, 宏
Citation	龍南, 246 : 46 - 47
Issue date	1940-03-01
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/8395
Right	

昨夜よみつゝ考へた思想がさゝやく

々人の子の―若き世代の人の子の廣さ深さも人間味もこの認識の世界から生れるのではないだらうか
調和！ 何と豊かな調和の世界だらう！

ちつとこみ上げてくる……………

生命のほゝるみ！

私は鏡をとり出し

そして々自分々をうつしてみた……………

あゝ 私は生きてゐる！

蟻

理 二 乙
倉
光
宏

いたましくも ひたすらな

そのはゞたき

低い音調は宿命の死を呪咀する

狂亂のあがきは

けんめいのこなをまきちらし

その一つ／＼に秋の腐肉を感じる

今宵も また

絶望のこなをまきちらし

かくて その一生を

はやかれはてた生命の泉に

何故の亂舞

——秋のノートより——

ニ
ー
ナ

理二甲三
村 上 喜 一 郎

白い四肢が 闇の中で 飛び廻つた。

黒い悪魔が 闇の中で それを追つた。

白い足が 大圓を細かく 刻んだ。

ニーナよ。ニーナよ。